

うちなだ 議会だより

Vol.119
平成26年〔2014〕
11月5日 発行



向粟崎秋季祭礼（小町御輿）

予防接種拡充へ 9月定例会

②

平成25年度決算

④

委員会レポート

⑥

一般質問 —6人が登壇—

⑦

ありゃ～どうなったがいね～

⑪



拡充へ

すくすく育て

第2回 定例会
9月会議
2日～18日

定例会

委員会

一般質問

意見書・請願

追跡

農業振興

・青年就農補助金
225万円

新たに夫婦で就農する
青年農業者(一組)を支援



観光振興

・元気内灘とれたて市
20万円

新鮮な野菜等の青空市場を開催



平成26年第2回定例会9月会議が開催され、平成26年度一般会計補正予算のほか、条例3件、財産の取得2件、契約締結2件、人事案4件の計12件を審議し、すべて原案のとおり承認・可決しました。平成26年度一般会計では、802万円を追加し、総額は92億687万円となりました。

条例の制定

(全員賛成)

・保育の必要性の認定基準に関する条例

子ども・子育て支援法の制定により内灘町の認定基準を定める。

条例の改正

(全員賛成)

・税条例

地方税法の改正に伴い、

・軽自動車税の税率改正

・固定資産税の課税標準の特例措置

・町営住宅条例

中国残留邦人等の法律改正に伴う改正。

財産の取得

(全員賛成)

・消防救急デジタル無線可搬・携帯型移動局

契約金額 1283万円

・車載型移動局

契約金額 1944万円
契約先 銀扇産業(株)

契約の締結

(全員賛成)

・総合公園サッカー場人工芝舗装

契約金額 1億4892万円

契約先 吉田道路(株)

・消防救急デジタル無線基地局整備工事

契約金額 6035万円

契約先 銀扇産業(株)

人事案件

(全員賛成)

教育委員



川辺 由美氏
(新任 西荒屋)

人権擁護委員

北西 則夫氏(再任 西荒屋)

松田 京子氏(再任 向陽台)

中村 由利子氏(再任 大根布)

元気で長生き 予防接種

予 防 接 種

- ・水痘（1歳～3歳）
 - ・成人肺炎球菌（65歳～）
- 800万円**



屋内温水プール

- ・ボイラー更新
- 710万円**
- 経年劣化のため更新



7月会議 7月22日

補正予算（全員賛成）

・一般会計

住宅リフォーム助成金を2千万円追加し、総額91億9885万円となりました。

8月会議 8月20日

議員辞職の許可（異議なし）

川口正己議員から、一身上の都合により議員辞職願が提出され、許可されました。

10月会議 10月16日

議員辞職の許可（異議なし）

酒本昌博議員から、一身上の都合により議員辞職願が提出され、許可されました。

補正予算（全員賛成）

・一般会計

旭ヶ丘公民館改築工事に係る工事費を1070万円追加し、総額92億1757万円となりました。

契約の締結（全員賛成）

・旭ヶ丘公民館改築工事

契約金額 8640万円
契約先 鈴木建設(株)

随時 議会を開催

本年六月より通年会期制

内灘町議会では、議会の持つ機能を最大限に発揮し、地方自治における二元代表制の一翼を担う責任ある機関として、議会活動のさらなる活性化を図るため議会の会期を本年12月まで通年化としました。

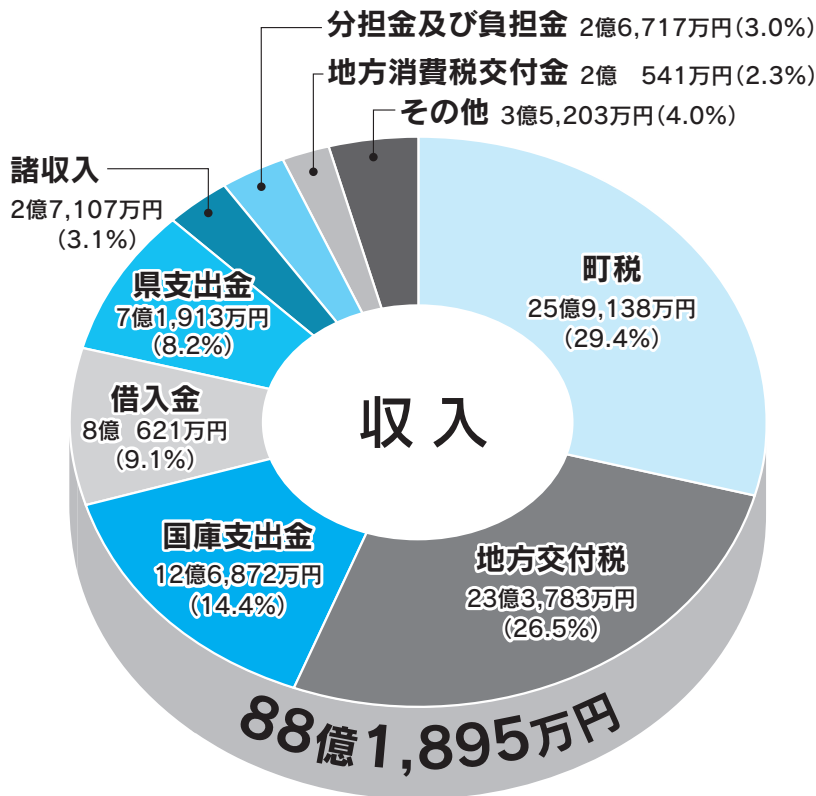
通年化により、議員発議による議案がいつでも提出でき、災害時の対応や突発的な行政課題の議会対応が可能となり、さらに専決処分も少なくなるなどのメリットがあります。



黒字に

決算特別
委員会

実質単年度収支 25年度 218万円 24年度 ▲2,338万円



貯金増加

町の貯金

基金名	24年度末	25年度末
財政調整基金	6億6,591万円	7億772万円
公用、公共用施設整備基金	1億4,597万円	2億9,669万円
義務教育施設整備基金	2億7,065万円	2億9,083万円
(仮称)高齢者いきいき健康センター整備基金	1億6,621万円	1億8,132万円
土地開発基金	1億212万円	1億228万円
海と砂丘文学顕彰事業基金	1億66万円	1億66万円
その他の基金	1億2,240万円	1億1,439万円
合計	15億7,392万円	17億9,389万円



町民一人あたりの貯金

6万6,298円

平成24年度 5万8,233円

平成26年3月末

人口27,058人

平成25年27,028人



委員 八田 外茂男 中島 利美 北川 悦子 生田 勇人 清水 文雄
委員長 ◎藤井 良信 副委員長 ○渡辺 旺 (◎…委員長、○…副委員長)

・各会計の昨年度決算7件と水道会計の剰余金を審議し、左記の指摘・要望事項を付けて、いずれも認定しました。

25年度の
事業成果を審査

決算特別委員会

25年度
決算を認定

単年度収支

借金減少

町の借金

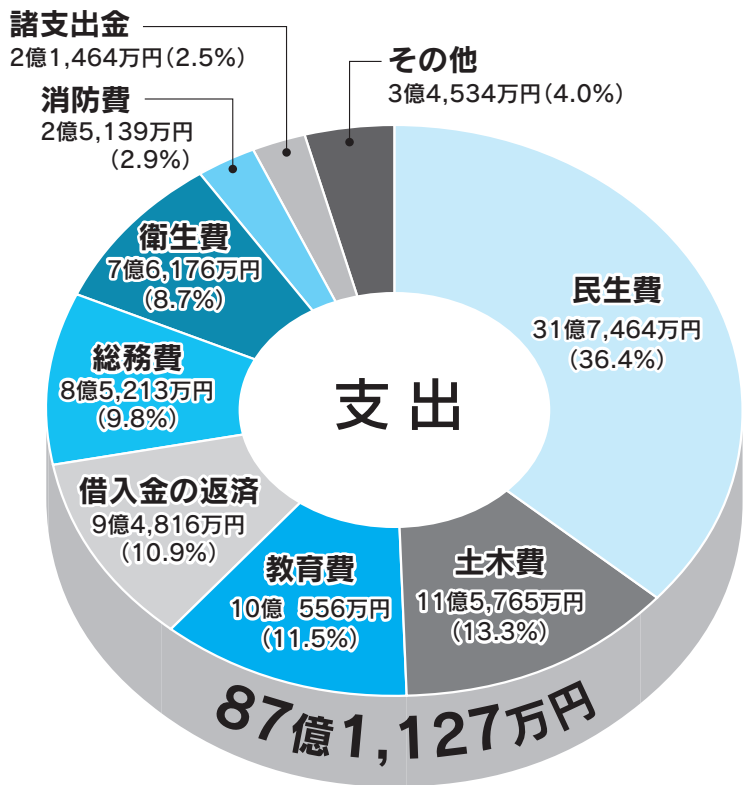
地方債	24年度末	25年度末
総務関連事業債	7億 989万円	6億4,961万円
民生関連事業債	3億 587万円	3億 608万円
衛生関連事業債	8,476万円	8,267万円
土木関連事業債	19億3,496万円	19億3,058万円
教育関連事業債	18億3,036万円	17億1,702万円
臨時財政対策債	35億5,111万円	37億9,272万円
その他の町債	4億 181万円	3億2,909万円
①一般会計町債の計	88億1,876万円	88億 777万円

特別会計の借金

公共下水道事業 特別会計	95億2,787万円	93億8,377万円
新エネルギー事業 特別会計	5,562万円	3,730万円
国民健康保険 特別会計	5,120万円	3,840万円
②特別会計町債の計	96億3,469万円	94億5,947万円
③水道事業会計	9億1,303万円	9億1,794万円
町の借金の合計 (①+②+③)	193億6,648万円	191億8,518万円

町民1人あたりの費用
32万1,948円
(一般会計)
平成24年度 29万1,878円

町民一人あたりの借金
32万5,514円
(一般会計)
平成24年度 32万6,282円



指摘・要望事項

- ・近隣市町の人の流れや浅電を活かすため公共交通システムと通学バスとの連携を検討せよ。
 - ・海水浴場を町が管理することができないか県と協議せよ。
 - ・文化・芸術活動へ補助や報奨金を設けよ。
 - ・内灘大橋のライトアップを復旧せよ。
 - ・千鳥台から流入する内灘海水浴場の雨水排水を改善せよ。
 - ・海拔標示板の設置をわかりやすく工夫せよ。
 - ・ケーブルテレビで制作した番組を町ホームページで放映してはどうか。
 - ・町は観光協会とどう関わっていくのか。効果的な取り組みを検討せよ。
 - ・町美術館はジュニア美術展と同時開催するよう文化協会と検討せよ。
 - ・フェイスブック、ホームページを活用した情報の発信を推進せよ。
 - ・災害時に対応するため、自己水の調査研究を進めよ。
- その他6件を指摘しました。

総務産業建設常任委員会

Q サッカー場整備は、利用者全体の利便性を考慮した施設になるのか。

A 利用団体等と協議し、理解を得て施設整備を進めたい。

Q 首都圏での新アンテナショップ取り扱い商品に町特産品はあるのか。

A らっきょう酢漬けが選定されている。

Q 町内の老朽化した側溝改修は年次計画を立てて整備すべきである。

A 今後、町全体の調査をおこない、順次整備していきたい。

Q 来年度からの軽自動車（小型特殊自動車）税改定は、農耕作業用車両などの把握のために販売業者に登録指導をせよ。

A どのような登録指導方法がよいか今後検討したい。



整備が進むサッカー場

文教福祉常任委員会



励みとなる表彰制度を

Q 町表彰で過去にスポーツ賞を受けた個人は、今年度よりスポーツ奨励賞の対象から外れることは子どもたちの励みとならない。

A 小・中・高校生については再度検討したい。

Q 学童保育が全学年対象になると、定員に問題はないのか。

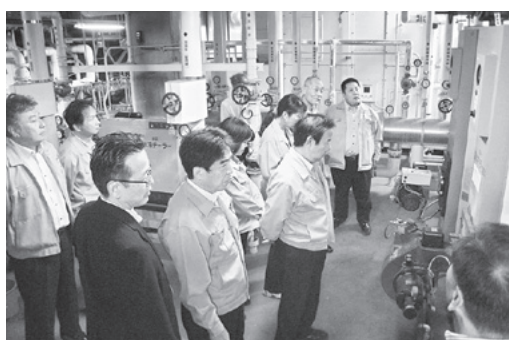
A 学年が上がるにつれ、利用数が少なくなっており、定員を上回ることはない。

Q 西荒屋小学校の井戸改修は新たに掘り直すのか。

A 現在の井戸水源が枯れたため、新たな採掘工事となる。

Q 鶴ヶ丘北公民館耐震補強・改修工事期間中の仮事務所は決まっているのか。

A 鶴ヶ丘5丁目の県営住宅を利用できるよう県に申請中であり、9月中旬に許可が下りる予定。



温水プールの機械室

環境開発対策特別委員会

今回の環境開発特別委員会は、両常任委員会にまたがる案件について、町内視察をおこない議論しました。

- ・のと里山海道千鳥台交差点付近整備
- ・準幹10号線等道路整備
- ・室地区湧水状況
- ・室内温水プールボイラー修繕
- ・サッカー場整備状況
- ・福祉センターの状況
- ・河北潟UFO事業の現況

一般質問

市政も問う

6人が登壇

清水 文雄 議員 8

- 自らの「責任」で形を示せ
- 町職員の「採用評価基準」などについて

能村 憲治 議員 9

- ほのぼの湯建設の見通しは
- リサイクル事業方法の見直しについて

恩道 正博 議員 10

- 認知症早期発見の新たな取り組みは
- 大根布排水区における県道及びその付近の浸水対策について

八田 外茂男 議員 11

- 安全な海水浴場に
- 北陸鉄道浅野川線と駅周辺整備について

ほか1問

北川 悦子 議員 12

- 保険証は命のパスポート
- 子どもの命を守る医療費窓口無料化を

ほか2問

水口 裕子 議員 13

- 新人職員研修は
- 子ども議会の開催を

ほか2問

自らの「責任」を形で示せ 町民の信頼回復に努める



清水 文雄 議員

問 町職員が17歳の高校生にみだらな行為をし、いしかわ子ども総合条例違反の疑いで金沢区検に書類送検された。

答 この事件を起こした職員は、今年の新規採用者で試行期間中であつた。町長は職員の最高責任者として、町子ども権利条例に対する認識と自らの責任に対する考えを聞く。

答 職員の不祥事は、行政に対する信用を失墜させ、町民の信頼を大きく裏切るものだ。子どもの権利条例を掲げるなど、子育て支援を重要施策に掲げる本町として、誠に遺憾である。

今後、綱紀の肅正及び法令の遵守について徹底を図り、再発防止に努め、町民の信頼回復に努めることが町長としての責任である。

問 「上清ければ、下濁らず」信頼を回復するためには、町長自らが何らかの責任の形を示すべきだ。

答 町長の責任として、一日も早い町民の信頼回復に努めることだと考えている。

問 「町職員の縁故採用を疑い」と新聞にオンブズマンの情報公開請求があつた。疑念を招く職員採用があつたのか。

答 平成26年4月入庁分の新規採用に係る公文書公開請求書が提出されている。指摘のような事実はない。



職務に励む町職員

問 町職員の採用関連書類を、氏名は別にして公開すべきだ。

公開することで面接官が受験者を公平、適切に評価して得点をつけたことがわかり、誰が見ても明らかにその公平さを見て納得することができる。私はプライバシー等を管理すれば、採用関連書類の公開は実現できると考える。

答 第1次、第2次試験の採点と評価基準等は、開示すると今後の採用試験事務の適正な遂行に支障が生じるため、非公開だと公開請求者に返答している。

公開請求者から非公開の項目について異議申立書が提出されている。現在、町情報公開審査会で審議中であり、答弁は控える。

公文書公開請求書

申請者氏名 ○●●●●●

住所 ○●●●●●

電話番号 ○●●-○●●-○●●

請求の公文書の範囲（※1）

請求の公文書の範囲（※2）

請求の公文書の範囲（※3）

請求の公文書の範囲（※4）

請求の公文書の範囲（※5）

請求の公文書の範囲（※6）

請求の公文書の範囲（※7）

請求の公文書の範囲（※8）

請求の公文書の範囲（※9）

請求の公文書の範囲（※10）

請求の公文書の範囲（※11）

請求の公文書の範囲（※12）

請求の公文書の範囲（※13）

請求の公文書の範囲（※14）

請求の公文書の範囲（※15）

請求の公文書の範囲（※16）

請求の公文書の範囲（※17）

請求の公文書の範囲（※18）

請求の公文書の範囲（※19）

請求の公文書の範囲（※20）

請求の公文書の範囲（※21）

請求の公文書の範囲（※22）

請求の公文書の範囲（※23）

請求の公文書の範囲（※24）

請求の公文書の範囲（※25）

請求の公文書の範囲（※26）

請求の公文書の範囲（※27）

請求の公文書の範囲（※28）

請求の公文書の範囲（※29）

請求の公文書の範囲（※30）

請求の公文書の範囲（※31）

請求の公文書の範囲（※32）

請求の公文書の範囲（※33）

請求の公文書の範囲（※34）

請求の公文書の範囲（※35）

請求の公文書の範囲（※36）

請求の公文書の範囲（※37）

請求の公文書の範囲（※38）

請求の公文書の範囲（※39）

請求の公文書の範囲（※40）

請求の公文書の範囲（※41）

請求の公文書の範囲（※42）

請求の公文書の範囲（※43）

請求の公文書の範囲（※44）

請求の公文書の範囲（※45）

請求の公文書の範囲（※46）

請求の公文書の範囲（※47）

請求の公文書の範囲（※48）

請求の公文書の範囲（※49）

請求の公文書の範囲（※50）

請求の公文書の範囲（※51）

請求の公文書の範囲（※52）

請求の公文書の範囲（※53）

請求の公文書の範囲（※54）

請求の公文書の範囲（※55）

請求の公文書の範囲（※56）

請求の公文書の範囲（※57）

請求の公文書の範囲（※58）

請求の公文書の範囲（※59）

請求の公文書の範囲（※60）

請求の公文書の範囲（※61）

請求の公文書の範囲（※62）

請求の公文書の範囲（※63）

請求の公文書の範囲（※64）

請求の公文書の範囲（※65）

請求の公文書の範囲（※66）

請求の公文書の範囲（※67）

請求の公文書の範囲（※68）

請求の公文書の範囲（※69）

請求の公文書の範囲（※70）

請求の公文書の範囲（※71）

請求の公文書の範囲（※72）

請求の公文書の範囲（※73）

請求の公文書の範囲（※74）

請求の公文書の範囲（※75）

請求の公文書の範囲（※76）

請求の公文書の範囲（※77）

請求の公文書の範囲（※78）

請求の公文書の範囲（※79）

請求の公文書の範囲（※80）

請求の公文書の範囲（※81）

請求の公文書の範囲（※82）

請求の公文書の範囲（※83）

請求の公文書の範囲（※84）

請求の公文書の範囲（※85）

請求の公文書の範囲（※86）

請求の公文書の範囲（※87）

請求の公文書の範囲（※88）

請求の公文書の範囲（※89）

請求の公文書の範囲（※90）

請求の公文書の範囲（※91）

請求の公文書の範囲（※92）

請求の公文書の範囲（※93）

請求の公文書の範囲（※94）

請求の公文書の範囲（※95）

請求の公文書の範囲（※96）

請求の公文書の範囲（※97）

請求の公文書の範囲（※98）

請求の公文書の範囲（※99）

請求の公文書の範囲（※100）

公文書公開請求書



能村 憲治 議員

ほのぼの湯建設の見通しは できるだけ早い時期に



早期建て替えはみんなの願い

問 ほのぼの湯は耐震性を満たしていない。町長は建て替えて現在地と公表しているが、具体的な計画が示されていない。

答 当初予算で、建設に向けた調査費100万円を計上しているが、その内容を示せ。

問 営業しながらの建て替えは可能か。

答 構想策定の中で検討する。

問 建設費の概算と財源の見通しを示せ。町民は大変関心を寄せており、スピード感をもって進めるべきだ。

答 約4億5500万円と試算しており、基金の1億8000万円とあわせ、有利な補助金などを調査し、できるだけ早い時期に実現したい。

問 平成5年にリサイクル事業を開始し、各町会に委託料を交付して分別収集を進めている。各町会では当番を決めて事業に協力しているが、開始から20年が過ぎ、社会情勢の変化などで当番が負担となってきた。この状況をどう考えるのか。

分別回収

答 高齢化などで負担が大きくなってきており、時間や集積場所の変更などを調査したい。



みんなで協力、地域リサイクル

問 収集運搬委託料は平成11年度のリサイクル量240tで847万円だった。25年度は68tで832万円である。リサイクル量が1/3に激減したのに、委託料に変化がないのはなぜか。

答 委託料は、走行距離と台数により算出し、一品目ごとに1台が必要である。運搬台数が減っていないので委託料に変化がない。

問 最小のコストで最大の効果を出すのが町の責務である。状況の変化に応じて事業を見直すのは当然と考えるが、町の考えを問う。

答 町民の負担軽減や利便性を維持し、低コストで合理的なリサイクル事業を模索していきたい。



恩道 正博 議員

認知症早期発見の新たな取り組みは「推進する会」で検討する

問 認知症予防と早期発見を目指す上で、正常な老化現象による物忘れと軽度認知障害を簡単に判別できる「早期発見プログラム」の新たなシステム導入について町の考えを問う。

答 専門システムの導入には年間で約250万円かかる。

今後、シルバー健診とあわせて実施できないか、またチェックシートを用いた簡易な方法なども含め、「内灘町における医療と介護の連携を推進する会」(以下「推進する会」)での意見も聞き、今後検討したい。

問 認知症の早期発見に、町はどのように取り組んでいるのか。

答 介護認定を受けていない65歳以上の方に、認知症の項目を含んだアンケート調査を実施した。疑いがある方には専門医の受診を勧め、顕著に疑われる方には、職員が自宅を訪問し、専門医を紹介している。

問 国の認知症施策推進5か年計画※では、地域の医療と介護の連携が必要としているが、町の取り組みは。

答 かかりつけ医が早期発見し、専門医につなげるシステムを目指し、金沢医科大学と町内の開業医で「推進する会」を立ち上げ、事例検討会や勉強会を開催している。

問 大根布排水区の県道や住宅地の浸水対策として、新たに排水ポンプを設置し、河北潟や大野川へ直接排水するなどの改善策について、町の方針を示せ。

答 補助排水施設の検討や周辺道路の状況調査をおこない、関係機関と調整し、長期的な対策も含め総合的に検討していく。

問 これまでに大根布排水区で実施してきた雨水対策事業は。

答 平成20年にバイパス管整備事業及び大根布ポンプ場の停電対策で2回線受電工事を完成した。現在も整備中の雨水浸透枡を100カ所設置し、矢板水路の改修事業などをおこなっている。



医療との連携を強化

問 8月17日早朝の降雨量と矢板水路の水位、県道を含む付近の住宅地への浸水状況は。

答 降雨量は1時間45mmで、矢板水路は81cmの水位上昇があり、大根布4丁目から5丁目にかけて県道の一部で10cmの道路冠水があった。

※認知症施策推進5か年計画(オレンジプラン)
H25年度からH29年度
・早期診断、早期対応
・認知症の普及啓発
・見守りなどの生活支援
最終的には、地域での生活継続を可能にする構築を目指す。



八田 外茂男 議員

安心安全な海水浴場に ルールの普及啓発を進める

問 いかなる人も平等に楽しめる浜を目指して、町は「内灘の海浜利用に関するルール」をつくった。しっかりと指導していく責任があり、安全な海水浴場にして、利用者の生命や財産を守っていくことが必要だ。

答 町はどのような対策をとってきたのか。

問 夏期にポリボックスや救護センターを常設することはできないか。

答 許可権者の県や警察と、海岸利用全体を検討していく中で協議する。

問 北鉄のプリペイドカードが浅野川線には使えない。新幹線開業までに、北陸鉄道へ働きかけよ。

答 利用者の利便性をさらに高めていく取り組みを連絡会で協議し、利用促進に努めたい。

問 現在の駅周辺整備計画やアカシア向栗崎2号線の整備事業は、何ら進んだ状況ではない。町民に見える形で進め、議論していくべきだ。

問 平成22年に大根布小にICT授業モデル校としてタブレットパソコンが導入され、その後清湖小高学年にも導入された。その成果を問う。

答 子ども同士が積極的に協働学習を展開するようになり、調べたことをわかりやすくまとめた発表する力がつくなどの成果が上がっている。

問 完全に1人1台配布している自治体もある。全ての小学校で平等にICT教育すべきだ。

答 ことし電子黒板も含め各小学校へ平等に再配備した。各学校で効果的な学習ができるよう努めたい。



安全を守る夜間合同パトロール

問 シーズン前に、海の家管理組合を初め、県や町の関係機関による連絡会を開催し、運営や安全対策を協議した。

答 また離岸流の注意啓発及びルールのチラシを海水浴客に配布し、夜間合同パトロールや週末夜間にはパトカーを常駐させ、安全確保や飲酒運転の取り締まりを実施した。

問 町で策定したルールの普及啓発を進め、海の家や夜間営業時間の短縮を働きかけている。

問 駅周辺の整備計画は平成7年に策定し、駅周辺の観光案内や公衆トイレを整備した。

答 アカシア向栗崎2号線の整備は、平成元年から用地買収を開始し、これまで用地買収及び建物補償で1億5826万円を支払っている。

問 最善の計画を検討し、まとまった時点で、事業に協力した方や地域住民に計画を示したい。

問 一方、支援員が欠かせず、機器の保守管理など費用面で大きな負担になっている。

答 子ども同士が積極的に協働学習を展開するようになり、調べたことをわかりやすくまとめた発表する力がつくなどの成果が上がっている。

北鉄浅野川線

駅周辺整備

ICT教育

保険証は命のパスポート 交付しない方はいない



北川 悦子 議員

問 平成26年7月末で、保険証を交付している世帯は3636件、資格証明書の交付世帯は49件となっている。資格証明書を交付している世帯で、18歳未満は短期保険証を交付している。

答 面談して国保制度の趣旨を説明し納得していただき、分割納付の誓約書を提出してもらった後に短期保険証を交付しており、保険証を交付しなかった方は一人もいない。

国民健康保険被保険者資格証明書	
交付年月日	年 月 日 交付
有効期限	年 月 日まで
住所	石川県河北郡内灘町字大学1丁目2-1
氏名	内 灘 町
生年月日	年 月 日
世帯主	
保険者番号	170688
並びに保険者の名称及び印	

【注意事項は裏面に記載してあります。】

資格証明書

問 国民健康保険資格証明書になると、医者にかかれば一旦全額負担となるため、病気になることも受診しづらく、緊急搬送されたときには手遅れで、命が奪われる悲しい事件が後を絶たない。

答 保険証は命のパスポート。命は無条件に守らるべきだ。町の実情で18歳未満の世帯は入っているのか。

問 子どもの医療費助成では、どの子もお金の心配なく、どこに住んでも受診できることが親の願いであり、子どもの権利でもある。

答 町が独自で窓口無料化を実施すると、概算でどれだけ予算が必要なのか。また小学生以上の自己負担10000円の助成を拡大せよ。

問 平成25年度では自己負担をなくした場合、約540万円。医療費が月額10000円以下の方も含まれるため推定が困難であり算定できない。

答 また、役場窓口で医療費助成の申請が不要となる制度を実施した場合、県内全体での実施が必要となる。

子どもの医療費

施設使用料

問 公民館の使用料に、燃料費がかかることもあり高くなっている。使用料を見直す考えは。

答 各地区公民館から同じような声が上がってくれば考慮していく。

学校備品

問 学校の机や備品等、重く使にくいものがある。子供の安全性・効率性も考え、改善せよ。

答 現状に依じて計画的に更新を図っている。学校開放も考慮し、更新時期に高齢の方でも使いやすい規格等に配慮する。



子育て支援の拡充を



水口 裕子 議員

新人職員研修は

日々指導に努める

問 町では3年前に子ども
の権利条例をつくった
ところが、その18歳以下
の人に対して、町の試行
期間中の新人職員があつ
てはならない不祥事を起
こし非常に残念だ。
職員研修や新人研修は
どのようなおこなわれて
きたのか。

答 2日間の町新規採用
職員育成研修と県市町村
職員研修所主催の4日間
の初任者研修に加え、日
常業務の中で日々指導に
努めている。

問 新人職員に福祉や子
育て、ごみ処理作業など
現場研修はどうだったか。

答 現場での体験は非常
に貴重なことであり、10
月実施に向け、夕陽ヶ丘
苑と協議をしている。



模擬議会体験（サンタを探せ）

問 二度とこのようなこ
とが起きないよう、事件
をどう教訓にするのか。

答 今後あらゆる機会を
通じて綱紀粛正に努める。

問 『金は一年・土地は
万年』の思いを広めるた
め、手拭い等を土産とし
て販売できないか。

答 風と砂の館は教育的
文化施設であり、知識や
思いを持ち帰ってもらい
たい。

風と砂の館

防災計画

子ども議会

問 町の原子力防災計画
では、30 km圏内の方が避
難する間、町民は不要不
急の動きをしてはいけな
いとなっている。

答 町民が自主避難をす
る規制はできないが、広
域的対応が必要である。

問 安全協定について、
検討の結果は。

答 現時点では検討課題
とする。

問 オフサイトセンター
※は9 km地点に引越す
が、機能するのか。また
町との連絡体制は。

答 万一の時は、県奥能
登総合事務所と県庁の2
力所に代替設置する。町
職員の派遣はない。

問 内灘つ子たちに「誰
もが生まれたときから一
人の人間として認められ、
自分らしく豊かに成長、
発達していく権利を持つ
ている」と知らせ、まち
づくりを担っていく気概
の持てる環境を整えなけ
ればいけない。子ども議
会を開催してはどうか。

答 子供自身の考える力
や伝える力・思考・判
断・表現などの力が養わ
れる。また、子供たちの
健全育成からもすばらし
いことである。
今年度策定予定の子ど
もの権利条例推進計画に
基づき、子ども議会の開
催を検討したい。

※オフサイトセンター
とは、原子力災害対策
特別措置法において指
定された緊急事態応急
対策拠点施設のこと。

議会正式訪問

強い絆を再確認

定
例
会

委
員
会

一
般
質
問

意
見
書
・
請
願

追

跡



道立羽幌病院を視察

羽幌病院では近年医師不足により、約半数の外来が閉鎖状況となっています。そのため数年前より当町を通じて、金沢医科大学との接触を図り医師派遣のためのプレゼンテーションなどを金沢医科大学でおこないました。その結果、来年度から金沢医科大学の研修先として羽幌病院が指定されることとなりました。

その他 羽幌町内視察

- ・オロロン農業協同組合
- ・ライスターミナル
- ・フェリーターミナル
- ・北海道海鳥センター



明治末期から大正初期にかけ、数百隻もの船団が内灘村から猿払村へ入漁していたことが交流の歴史の原点です。

現在、猿払村の主要産業であるホタテ漁業は内灘村漁民の知恵が受け継がれています。

自他共に認める「日本一のホタテ」水産業で村民の暮らしはたいへん豊かなものとなっています。

当時、内灘村から猿払村に定住された方も多く、その子孫が現在もあらゆる分野で活躍されています。

町制施行 50 周年記念式典には猿払村長・議会議長をお招きし、また昨年の猿払村制施行 90 周年記念式典には川口町長・夷藤議長が招待されるなど近年交流が深まっており、今後の友好交流のあり方を検討しています。

猿 払 村

北海道 羽幌町 15年ぶりに姉妹町へ

平成26年9月24日～27日

羽幌町との交流原点は明治にさかのぼり、当時内灘村は漁業が盛んで、村民の多くが鯨漁に羽幌へ出稼ぎに行きました。

昭和になり、鯨は幻の魚となり内灘に引き揚げる人もいましたが、そのまま羽幌にとどまる人もおり、これらのことが縁となり内灘と羽幌との交流が続いています。

現在では、行政をはじめ各種民間団体や子どもたちのスポーツ交流なども盛んにおこなわれており、当町の町民夏祭りなどには羽幌からも訪問にきています。

昭和55年10月1日羽幌町において姉妹都市提携調印式がおこなわれました。(当時の中村小重町長と町議会一行24人が訪問)今年で姉妹都市提携34年を迎えます。



猿払村

羽幌町

日本一のホタテ水産加工業を視察

戦後、乱獲が続いて枯渇したホタテ貝を漁場造成やふ化・放流・育成事業など、漁業者と村が一体となり資源管理型漁業の転換に力を注ぎ、日本一のホタテ水産加工業に育てたことには、目を見張るものがありました。

収入の面でも若者に魅力的な村となっているようです。

その他 北海道の視察研修先

- ・旧北海道庁舎 札幌市
- ・サッポロさとらんど 札幌市
- ・メガソーラー施設 稚内市



今後の友好交流を検討



意見書

請願

軽度外傷性脳損傷に係る
周知及び適切な労災認定
に向けた取り組みの推進
を求める意見書

米の需給と価格に責任を
持つ米政策の確立を求め
る請願

「農政改革」を見直し、
食料自給率の向上を最優
先した農政を求める請願

教育予算の拡充を求める
請願書

(全員賛成)

(賛成3人、反対11人)

(賛成3人、反対11人)

(継続に賛成10人、反対4人)

○提出議員
○賛成議員

太田 臣宣
藤井 良信
生田 勇人

3回目

○請願者
農民運動石川県連合会
会長 宮岸 美則
北川 悦子

2回目

○請願者
農民運動石川県連合会
宮岸 美則
北川 悦子

1回目

○請願者
石川県教職員組合河北支部
執行委員長 酒井 一成
清水 文雄

主旨

・軽度外傷性脳損傷を、国民
を初め教育機関に対し、広
く周知を図ること。

・画像所見が認められない
高次脳機能障害の労災認定
に当たっては、厚生労働省
に報告することとされている
が、事例の集中的検討を
進め、医学的知見に基づき、
適切に認定がおこなわれる
よう取り組みを進めること。

不採択

不採択

生田 勇人議員

生田 勇人議員

米の需要量の動向や、少子
高齢化等の情勢を考えたとき、
国の新たな政策は、これから
の強い農業を作り上げていく
礎になるものと確信する。

新たな政策では、これまで
米の生産調整で作付けされて
いなかった水田でも作物が生
産され、食料自給率の向上に
つながるものと考えている。

討論

北川 悦子議員

討論

北川 悦子議員

全国的に米価格の大暴落が
強く懸念され、大規模農家は
大打撃だ。このままでは地域
農業、農村社会に取り返し
つかない事態を招きかねない。

法人経営を支援して、国際
競争力のある農業づくりを目
指すという農政改革は、混乱
を持ち込むだけで、低コスト
追求の農政に展望はない。

可決

継続

主旨
・OECD 諸国並みの、豊
かな教育環境を整備するた
め、30人以下学級の推進。
・教育の機会均等と水準の維
持向上を図るため、義務教
育費国庫負担制度の拡充。
・校舎の耐震化、教材備品・
修繕費等、学校教育環境の
整備充実に必要な予算措置。
・子どもと向き合える時間確
保ができるよう、教職員の
定数改善や事務負担の軽減。

内灘町から国会へ!

意見書
請願の

審 査

追跡

一般質問のゆくえ

ありゃ～
どうなったがいね～

ライフセーバーを導入せよ

内灘海水浴場にはライフセーバーが絶対必要だ。関係機関と調整し、町が中心となり努力せよ。
平成18年6月議会 八田 外茂男 議員

答 弁

調査研究したい

PRする意味でもボランティア協会と協力し、関係機関に呼びかけ立ち上げに向け調査研究したい。

その後

平成23年7月より実施

平成23年にNPO法人内灘ライフセービング協会が設立され、7月より海水浴場開設期間の監視・救助等をおこなっています。平日1人以上、休日2人以上の有資格者を配置し安全管理に努めており、平成24年度から補助金を交付し活動を支援しています。



行政との合同水難救助訓練

職員に町民福祉の現場研修を

町のサービスを利用する住民や、そこで働く人の声を聞き、自分で体験することは貴重だ。新人職員に町民福祉の現場で研修させよ。
平成25年12月議会 水口 裕子 議員

答 弁

来年度実施したい

体験型研修は人材育成や資質向上に有効と考える。どんな研修ができるか検討し、来年度実施したい。

その後

夕陽ヶ丘苑で実施中

今年10月から11月の間、夕陽ヶ丘苑において、勤続6年未満の若手職員25人を対象に福祉体験研修を実施しています。来年度は、新規採用職員及び勤続6年以上12年未満の職員を対象に実施予定です。



夕陽ヶ丘苑での町職員研修

メモ魔

中村よしつぶ



街かどインタビュー

笑顔・みつけた



今回紹介する方は、向粟崎にお住まいの川口まさみさんです。

◆内灘町に住んで何年になりますか。

○かほく市からお嫁に来て43年になります。

◆内灘町に住んでみて良かったところは

○金沢に勤めていたので、通勤には便利でした。

◆防災士としてみなさんに伝えたいことはありますか。

○ケガの応急処置の仕方など、日常生活にも役立つことがたくさんありました。

◆町女性防災士第1号として、活躍されていますが気がついたことはありますか。

○日頃から防災意識を持っていただき、実際に災害に遭遇したときは、家の中で救助を待つのではなく、屋外に出て自ら救助を求める行動をとってください。

◆議会を傍聴したことはありますか。

○一度だけ行ったことがあります。そのとき感じたことは、もう少し活発なやりとりがあったのもよかったなと感じました。

◆これからの内灘町に望むことはありますか。

○スポーツが大好きなので、スポーツ施設の充実をお願いしたいです。特に、県内唯一の自転車競技場をリニューアルして町にもっと人が集まるといいですね。



女性防災士として活躍(一番左)

インタビュー中島 利美

議会を傍聴しませんか

6月から通年議会制度を試行しているため、次の本会議の開催日は町ホームページ、あるいは下記までお問い合わせください

議会事務局 TEL286-6715

編集後記

今年は、広島市の土砂災害や御嶽山の噴火、また10月に入ってから大型台風18・19号が日本列島を縦断し、甚大な被害をもたらしました。

犠牲になられた方へ哀悼の意を捧げると共に一日も早い復興をお祈りいたします。

内灘町においても、最近の集中豪雨により一部の地域では、冠水被害に悩まされています。

近年の異常気象により多発する災害に対し、議会としても町民の安心・安全にしっかりと取り組んでいます。

〔太田 臣宣〕

広報対策特別委員会

委員長 恩道 正博
副委員長 中島 利美
委員 生田 勇人
委員 太田 臣宣



VEGETABLE OIL INK

1部あたりの単価は30.44円です。
リサイクルペーパーを使用しています。